

「セーフシティ東京防災プラン 骨子」の概要

「セーフシティ東京防災プラン」について

- **地震・風水害・火山等の防災対策を迅速に進めていくため策定する2020年に向けた事業計画（2018年3月末策定予定）**

策定の目的

- **東京2020大会開催を見据えた、スピード感ある防災対策の取組推進**
 - ・ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、地震や風水害、火山噴火など自然災害についての防災対策の取組を、スピード感を持って推進すること
- **都民の理解と共感に基づく自助・共助の更なる進展**
 - ・ 防災対策についての都民の理解と共感を更に促進するため、記載内容の「見える化」等を推進し、都民の自助・共助の更なる進展につなげていく

計画期間

2018年度 ～ 2020年度

プランの構成～4つの災害シナリオと取組～

地震や風水害など想定しうる「4つの災害シナリオ※」を作成し、「災害ごとに懸念される事態（リスク）」を明確化



※ 想定しうる災害シナリオ

- 区部・多摩地域における地震
- 島しょ地域における地震
- 島しょ地域における火山噴火
- 都内各地における風水害

4つの災害で想定する事態に備えるため、**目指すべき「将来像」**を整理し、その実現に向けた「**自助・共助と公助の取組**」を掲載

プランの特徴(要点)

・ 以下の4つの特徴により、プランの「分かりやすさ」や都の防災対策の取組の推進を図る。

① 防災対策の「見える化」等による「分かりやすさ」の推進

効果の実感により、都民の理解と共感を促進

② 女性視点の防災対策の推進

「東京暮らし防災」との連携や女性視点の対策推進

③ 火山対策や熊本地震の教訓の具体化など、新たな施策を適切に反映

公助としての防災対策を着実に進展

④ 計画的なプランの進捗管理の実施

プランの進捗状況をレポートとして毎年度、都民へ報告

次頁以降で、特徴の具体的な内容について説明

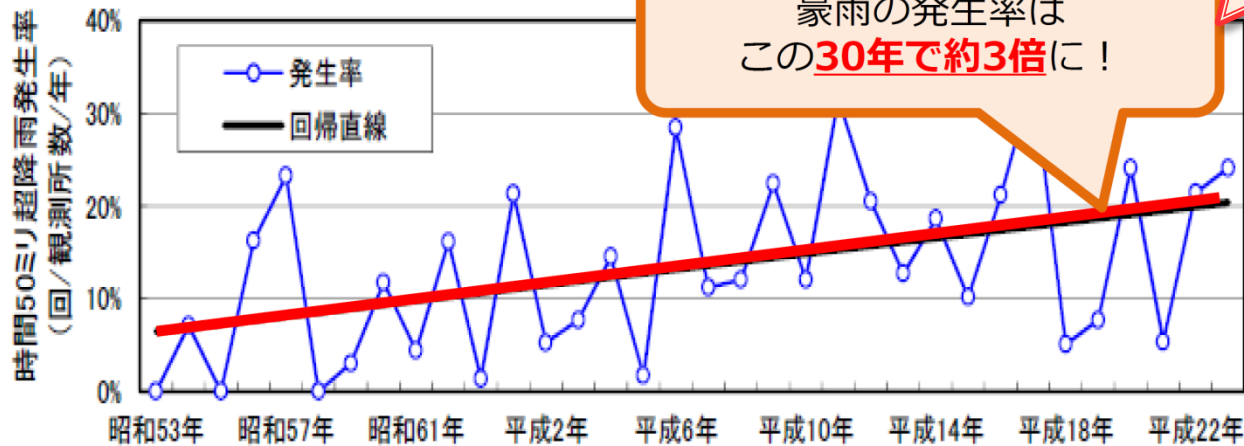
プランの特徴

① 防災対策の「見える化」等による「分かりやすさ」の推進 効果の実感により、都民の理解と共感を促進

防災対策の効果や自治体間の比較などについて、**図表やグラフを効果的に活用した「見える化」を推進するとともに、コラムを充実させるなど、都民にとっての「分かりやすさ」を更に推進し、都民の理解と共感につなげていく。**

増加する都内の豪雨

時間50ミリの豪雨発生率の経年変化



客観的データを用いて、自然災害の増加を「見える化」し、豪雨対策への理解や、自助・共助の取組を促進

豪雨の発生率はこの**30年で約3倍**に！

・気象庁の予測では、地球温暖化等の影響により、**今後さらに短時間豪雨の発生回数は増加**する見込みです。

都内における豪雨は近年確実に増加し、今後も増える見込みです。
豪雨対策を身近な問題として捉え、必要な備えを行うことが重要です。

①-Ⅱ 防災対策の「見える化」等による「分かりやすさ」の推進 効果の実感により、都民の理解と共感を促進

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の効果 (道路機能確保に係るシミュレーション)

防災対策の「効果の見える化」

シミュレーション結果

東京湾北部地震等を想定し、特定緊急輸送道路の道路機能のシミュレーションを、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率に応じて実施（詳細な設定等は下記のとおり）

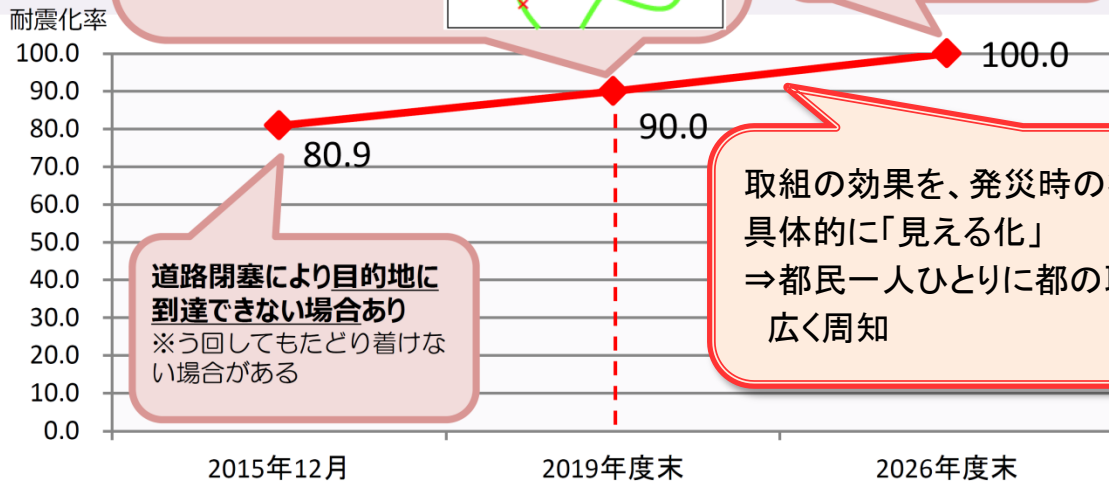
**う回は必要だが、目的地に到達することが可能
(道路機能確保)**

※最短ルートは道路閉塞していても、う回することで到達可能



**最短ルートで到達可能
(道路機能完全確保)**

※う回せずに



道路閉塞により目的地に到達できない場合あり
※う回してもたどり着けない場合がある

取組の効果を、発災時の状況に照らして具体的に「見える化」
⇒都民一人ひとりに都の取組の意義や効果を広く周知

特定緊急輸送道路の耐震化が進むこと※で、
う回により、通行機能を確保することができます。

※耐震化率90%、かつ、特に倒壊の危険性が高い建築物(Is値が0.3未満相当)の解消

② 女性視点の防災対策の推進

「東京くらし防災」との連携や女性視点の対策推進

■ 「東京くらし防災」(女性視点の防災ブック)等との連携

平成30年3月策定予定の「東京くらし防災」(女性視点の防災ブック)、
「東京防災」などと連動した内容とすることで、
本プランと「東京くらし防災」の相互活用を促進するなど、
都民一人ひとりの理解と共感を更に深めていく。
(冊子への連携の具体的な反映は、今後(3月公表までに)実施予定)

■ 女性視点の防災対策の推進

女性視点の防災対策について、多様な
角度から取組を進め、よりきめ細かな
対策の実現につなげていく。

セーフシティ東京防災プラン

- ① 「東京くらし防災」や「東京防災」と
連携した掲載内容
- ② 冊子内に、女性視点の防災ブックや「東京防災」の
参照ページを掲載

連携

複数のコンテンツの相互活用
により、都民の防災対策に
関する理解を、相乗効果的に
高めていく

「東京くらし防災」 (2018年3月公表)

- ・女性ならではの視点による防災の取組
を掲載
- ・暮らしの中で「一つでもいいから始めて
もらう」ためのブック

「東京防災」 (2015年9月公表)

- ・災害に対する事前の備え
発災時の対処法などを分かり
やすくまとめた完全東京
仕様の防災ブック

主な取組

- ◆ 「東京くらし防災」の啓発・展開
- ◆ 女性防災人材の育成事業の推進
- ◆ 女性消防団員向けの研修等実施







プランの特徴

③ 火山対策や熊本地震の教訓の具体化など、新たな施策を適切に反映 公助としての防災対策を着実に進展

島しょ地域における火山防災対策の推進や、平成28年熊本地震の教訓の具体化など、都政の進展に伴う新たな施策を適切に反映し、更なる取組の推進につなげる

主な反映内容

事項	主な取組内容
ハード対策 (地震)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 所有者に積極的な働きかけを行う区市町村を対象に住宅の耐震診断・改修への助成開始 ✓ 都道の無電柱化の推進及び区市町村への支援の実施 
帰宅困難者対策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 帰宅困難者同士の「助け合い」等に向けた啓発イベント実施や「帰宅困難者対策モデル企業認定制度(仮称)」創設 
熊本地震の支援の教訓	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全庁の総力を結集した災害対策本部体制の強化 ✓ 全国からの応援の受入体制整備、運用に向けた取組等
風水害対策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元と連携したワークショップ等による普及啓発の展開 ✓ 護岸の整備や広域調節池の整備等の推進 
火山対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6火山の特性に合わせた火山ハザードマップや避難計画の策定 ✓ 東京都地域防災計画(火山編)の修正 

④ 計画的なプランの進捗管理の実施

プランの進捗状況をレポートとして毎年度、都民へ報告

本プラン掲載事業の進捗状況や、都民・地域、企業の防災意識の変化やその取組状況を明らかにし、「進捗レポート(仮称)」として毎年度、公表していくことで、自助・共助・公助の計画的な取組を促進

